

新年号・技能オリンピック特集号

2016.1.15

支 部 通 信

No 69



長野県電気工事業工業組合
長野県電気工事協力会
長 野 支 部

目 次

				ページ
1	Top Message	支 部 長	大田 敬壹	----- 1
2	新 年 ご 挨拶	中部電力(株) 飯山(営)所長	手塚 高典	----- 2
3	地 区 だ よ り	須高副地区長	佐藤 勉	----- 3
		更 埴 地 区 長	宮崎 正明	----- 5
		長 水 地 区 長	伊藤 善宣	----- 6
		中 野 地 区 長	玉木 新二	----- 8
		飯 山 地 区 長	村石桂太郎	----- 9
4	フ リ ー ト ー ク	更 埴 地 区	廣瀬 清	----- 10
		須 高 地 区	木下 浩治	----- 11
		中 野 地 区	児玉 収	----- 12
		飯 山 地 区	中澤 邦夫	----- 14
5	技能オリンピック大会特集 16P～	中部電力(株) 飯山(営)所長	降旗 宏吉	----- 17
		中部電力(株)ご指導くださった皆様		----- 20
		中部電力(株)指導員の皆様から		----- 24
		副 支 部 長	高津 和忠	----- 29
		須 高 地 区 長	竹前 廣克	----- 30
		店主からのメッセージ		----- 32
		出場選手のメッセージ		----- 34
6	編 集 後 記	総 務 委 員	酒井 重喜	----- 37

(敬称略)

♪ 表紙写真 ♪

「第33回引込および内線工事技能オリンピック大会」

11月5日、愛知県日進市中部電力(株)人財開発センターに於いて開催された技能オリンピック大会。

長野センター(長野支部)チームは4大会連続で同大会に出場している。

写真撮影：倉嶋 紀子



「おめでとうございます」

～ Venus (金星) ～

支部長 大田 敬 壹

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、平素は長野県電気事業工業組合並びに電気工事協力会長野支部そして長野引込工事センターの活動に暖かいご指導とご理解を賜り、心から御礼を申し上げます。また、藤沢長野県電気事業工業組合理事長におかれましては、黄綬褒章を受章されましたこと、心よりお喜び申し上げます。永年のご功績の賜物と存じ申し上げます。

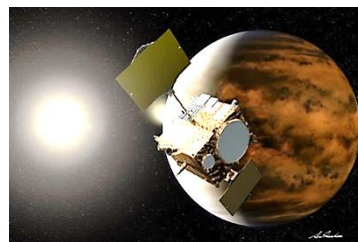
昨年は、第33回引込及び内線工事技能オリンピックが開かれ、その連合大会で須高地区選出の長野支部チームが優勝しました。大金星でした。それは長野支部だけでなく、県協力会にとっても大変輝かしい出来事でした。選手の皆さんはもとより、関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

表彰式の後、選手が応援団の前であいさつに立った時、選手の中から大粒の涙がこぼれ落ちました。その涙には、時の移ろいに刻々と変わる空色のように、人の心を映し出し、群青、深紅、漆黒、暁に染め、紆余曲折の想いをにじませていました。県大会で優勝を逃し、その悔しさに、そこからの思い入れと大会に向け相当な重圧だったことを慰労会で聞かされました。将来、選手たちは明けの明星（金星）のように、業界で一際明るく活躍することとしたいと思います。ご苦労様でした。

さて、4月から始まる一般小売の電力の自由化は、中部電力様をはじめ、我々の業界にも大きな影響を与えています。その一つが協力会の解散そして長野引込工事センターの運営であり、課題も多く残されています。その中で昨年は、センターの専門班が5班体制になったことから、新增設の引込工事のほかに引込線点検改修工事（劣化張替）も始まり、新たな一歩を踏み出した年でもありました。今後、皆様のご指導とご協力を頂き、支部の一層の向上を目指し邁進したいと考えています。

余談ですが、JAXAでは5年前に、金星探査機「あかつき」をその軌道に乗せることに失敗しました。そして昨年12月に設計寿命の4年半を越えながら、繭糸を手繰るようなラストワンチャンスに懸け、見事に「女神ビーナス」の名をいただく「金星」の軌道に乗せることに成功しました。その時のチームリーダーが言いました。「丁寧に探査機を作ったことが、非常事態に役立った」と。その「ものづくりの神髄」は我々の日々の仕事でも同じことが言えるのではないのでしょうか。

最後になりますが、今年は申年です。十干十二支で言うと「丙申」になります。申年というのは、簡単に説明すると、今までの苦労や努力が形を成す年ということのようです。そして災難、苦難が去る（サル）年とも言うそうです。皆様にとって今年一年が良き年でありますようにお祈り申し上げます。





新年ご挨拶

中部電力株式会社
飯山営業所長 手塚 高典

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は、弊社事業に格別なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

まずもって昨年を振り返りますと、何を差し置いても11月5日に開催された「第33回引込および内線工事技能オリンピック連合会大会」での「長野チームV2達成」であります。県大会準優勝の悔しさを糧に練習を重ねた成果が見事に成就し、長野支部の関係者全員に最高の喜びと誇りを与えていただいた、竹前班長、岩本選手、山際選手に感謝申し上げます。練習の過程では、プレッシャーから体調を崩されたこともあったとお聞きしました。その様な状況の中で、選手を送り出された店主の皆さま・苦楽を共にし、支え続けた須高地区役員・会員の皆さまはもとより、応援し続けていただいた長野支部役員・会員の皆さまに改めて敬意を表すると共にお祝い申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、本年に目を向けますと、「電力システム改革第2弾」として4月から「電力全面自由化」がスタートし、低圧のお客さまも電気を購入する電力会社を自由に選べることとなり、各電力小売会社によるお客さまの争奪戦が始まります。弊社でも「カテエネ」や「中部電力はじめの部」などお客さまへのアプローチを開始しており、今後もお客さまにお選びいただくための努力を続けてまいりますので、特に会員の皆さまには、引き続き弊社をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

この関連では、弊社の業務体制においてインターネット受付の標準化や対応窓口の変更等、会員の皆さまにはご面倒をおかけすることもあるかと思いますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

電力システム改革については、既に「第3弾」が法制化され、平成32年までに弊社を始め既存の10電力会社は「流通部門（送電・変電・配電）」を分社化しなければならず、現在の弊社各営業所は流通部門の機能に特化した会社に属する予定であります。新会社の名称や分社時期は未定であります。お客さまがいずれの小売会社から電気を購入しようとも、配電設備の建設・維持を担う営業所の使命が各地域の「電力安定供給」であることに変わりはありません。従いまして、引込線や計器の接続工事をお願いする引込工事センター様の仕事や重要性が、電力システム改革によって変わることはありませんので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前述の「電力安定供給」は、新技術により各種のシステム化が進む現在においても「人による作業」の存在なしには成り立たず、その作業の基本は「安全第一」であります。本年も会員の皆さまを始め、電力流通設備に係る関係者全員が無事故・無災害で過ごすことができますよう、一人ひとりが安全への取り組みを積み重ねていきましょう。

最後になりましたが、会員の皆さま方のご健勝と益々の繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



地区だより



ひと夏の思い出

須高副地区長 佐藤 勉

4月の定時総会で副地区長に任ぜられて7か月が経過し、須高地区の事業も下半期に達しています。10月16日に10月度定例会を開催、併せて安全大会も行いました。(総務委員会 清水委員長)平成27年度安全(災害速報)共有化情報一覧によると中部電力管内で18件も事故が発生しています。

さて、本年度須高地区最大事業といえば7月7日開講式に始まり、9月17日開催された第34回引き込みおよび内線工事技能オリンピック県大会で準優勝し、11月5日開催の第33回引き込みおよび内線工事技能オリンピック連合大会への出場を決めたことです。ゼロから始めた資金計画、練習の計画、当番の割当等々五里霧中の中、東奔西走して関係者の方々より情報を収集し計画を建てていただいた竹前地区長さんの指導のもと、須高地区会員は一丸となって目標にむかって行動をしました。これは平生からのまとまりの良さの現れでしょう。

11月2日、連合大会技能披露会では作業動作、作業時間、接遇対応、すべてに余裕が感じられました。11月5日、第33回技能オリンピック連合大会、見



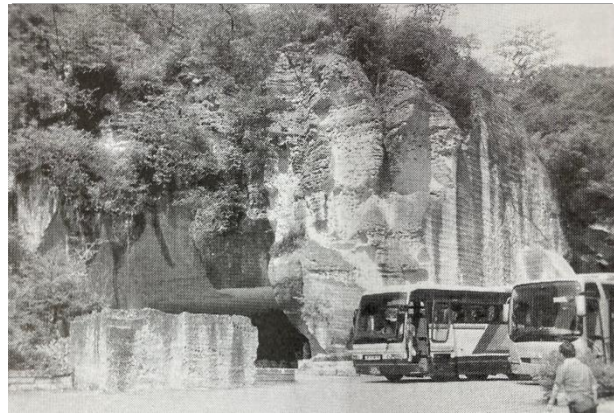
電気使用安全月間事業 臥竜公園灯具清掃

須坂市総合防災訓練



事優勝しました。「優勝長野県Aチーム」のアナウンスの際「ウオー」とどよめきが湧きました。前回、前々回出場の中野地区さん、飯山地区さんほか多方面からの頑張れという励ましのことばに大きなプレッシャーを感じていた竹前地区長さんと3人の選手は、優勝した喜びと同時にほっとしたことと思います。

技能オリンピック関係の全てが終了した今、このような数十年に一回の機会に副地区長として会計担当、その他に関し地区のお役に立つ事ができたと思ひ、大変でしたが「幸せだな〜」と思っているところです。ひと夏の思い出になりました。下期事業として、安全パトロール、来年1月度定例会、3月防具、保護具の耐圧試験があります。



研修旅行 大谷石採掘場跡

中部電力長野営業所様はじめお世話になりました各位に感謝申し上げますと共に、今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



技能オリンピック大会 長野チーム大応援団 11月5日 愛知県日進市にて



更埴地区

自分の安全は自分でつくる

更埴地区長 宮崎 正明

地区の事業は、6月に昇降柱訓練があり、7月の電気使用安全月間では前年度に引き続き長谷寺様の配線診断で各分電盤の絶縁測定等、構内全般を点検し安全の確認をしました。8月の店主会と安全大会ではDVD鑑賞を、会員32名と中部電力様7名の参加で、安全作業については、『なぜ落ちたの、お父さん。自分の安全は自分でつくる』と、交通災害では『視覚が死角』のDVDを県協力会と中部電力様よりお借りして鑑賞しました。やはり作業災害、交通事故を起こさないようにするには決められた規則を守って、自分の身は自分で守る事が大事かと思えます。

当地区の現場パトロールも4店実施予定中3店終わりましたが、なかなかパトロールに該当する現場がなく困っているようです。引込工事センターのパトロールも直営班である弊社も何度か実施しています。篠ノ井中部電力様を交えてセンターの役員様と共に現場パトロールを実施していますが社員も普段と違って引き締まった感じで仕事をしているように見えますので良い事だと思っています。

今回の支部通信では何と云っても第33回技能オリンピックの連合大会で長野チームのV2達成で長野Aチームの皆様ご苦勞様でした。更埴地区役員も4名で県大会から連合大会前の技能披露会、愛知県の連合大会にも出向き応援をしました。結果、見事優勝！本当におめでとうございます。今回の技能オリンピックで得たことをこれからの毎日の仕事に向けて頑張ってください。



長野県電気工事協力会交換パトロール 飯山市



今年度からの「改革」に向けて

長水地区長 伊藤 善宣

長水地区は皆さんご存知の通り、5つのブロックで構成されています。地区全体での集まりは3回の定例打合せと総会以外にはなく、他地区で行っている旅行や忘・新年会等はブロック単位で行っています。その為、中部電力さん、中部電気保安協会さんとの地区としての交流は、以前はソフトボールやボウリング大会等を行っていましたが現在は無い状況です。

その中でも活発なブロック活動をしているのが第4ブロックです。忘・新年会、総会のもとより、旅行・ゴルフと会員が進んで参加できる体制を取り、特にゴルフでは第3ブロックと合同で年間2度の大会を開催し、中部電力さん、中部電気保安協会さん、電材店、メーカー、1・2・5ブロックの皆さんに参加していただき、楽しい交流を行っています。



私はこの大会を長水地区全体に広め、また、以前の様に会員全員が参加できる交流の場を役員と会員共に考えていきたいと思えます。また、協力会の解散という避けては通れない難題が目の前に迫っています。ブロック、地区、支部と十分協議をしていきたいと思えます。



さて、長水地区の平成27年度の主な活動は電気使用安全月間事業で、国宝善光寺さんの本堂および境内の電気設備と清掃が8月21日に、地区役員18名、中部電力さん6名、保安協会さん5名、計29名で行われました。あいにくの小雨の中、高所作業車での外灯清掃点検、そして今年は本堂の外陣・内陣・内々

陣と、普段入れない所まで照明の清掃点検を慎重に行いました。昨年までの副地区長から今年は地区長という立場で最も変化があったことは、報道関係(本年度はテレビ局5社、新聞4社)のインタビューに対応する事でした。約1時間30分、同様の質問に何回も答え大変な役だと実感しました。テレビのニュースでインタビュー映像が各局で放送されると、意外と見ている人が多く、30人ぐらいの人から「ヘルメットにあらわれるアップの大きな顔が緊張していたぞ」と2か月間も言われました。まだ善光寺さんからは、来年も是非にとお礼の言葉を頂きました。

11月20日の定例会では、労働基準監督署の講話を、新調した安全大会の幕の下、労働災害の現状について約1時間安全大会が行われました。

今年は暖冬予報ではあるが降雪量が多いのではないとも言われています。体調を十分管理して新年を迎えられればと思っています。今年もよろしくお願い致します。

8月21日 NHKニュースより





中野地区

地区活動を振り返り

中野地区長 玉木 新二

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。

今年から地区長になり、早いもので9か月経ちました。予定していた保護具、防具の耐圧試験また昇降柱訓練など無事終わることが出来ました。また、市、町の協力により電気使用安全月間で高齢者住宅配線診断も役員、会員の皆様に協力していただきありがとうございました。パトロールについて、店舗パトロールは計画どおり実施できましたが、現場パトロールが出来なくまた計画を実施したいと思っています。

今年は技能オリンピック大会の年でした。私も長野県大会に応援に行きました。今回は前回と違い応援するにも、選手を出していないので、気持ちは楽に応援が出来ました。準優勝でしたが連合大会に出場することになり私もホッとしました。選手の皆様はプレッシャーに耐えて、リベンジをする意気込みで連合大会に臨み、優勝できました。素晴らしいことと思います。選手また役員の皆様大変ご苦労様でした。



先日世界文化遺産国宝姫路城に行ってきました。シラサギが羽を広げたような優美な姿から白鷺城の愛称で親しまれる城です。白漆喰塗り籠造りの鮮やかな白の城壁や5層7階の大天守に感動しました。大天守からの景色も素晴らしくきれいでした。400年以上経過していても美しい姿を残しています。行く機会があれば、ぜひ見学をお勧めします。



暖冬？

飯山地区長 村石 桂太郎

原稿の締め切り間近の12月上旬、豪雪地と言われている飯山地域は平地に全く雪がなく、気象庁の長期予報はスーパーエルニーニョ現象で12月5日から1月4日まで、気温が高い確率が70%という発表もあり、12月として例年になく小雪の冬になっています。

飯山地域は昔から冬期間、雪に携わる仕事をしている人が多くいます。スキー場に勤めている人、ペンションや民宿で働いている人、早朝より重機を運転し道路除雪をする土木業者に勤めている人など、雪を原資に収入を得ている人がたくさんいる中で、暖冬、小雪で動きやすいなどと言ってはいけない状況なのかもしれない。雪が山にあって里にない状況が理想的だと思っていますが、今年のスーパーエルニーニョ現象がどこまで暖冬に影響してくるかとても心配しています。冬の間、ある程度雪があり、スキーを中心とした観光客に数多く訪れて頂く中で、地域経済が良い循環で明るい方向に向かい、温かな春が迎えられよう願っています。

飯山地域も今年の3月14日の北陸新幹線飯山駅開業で、駅周辺にはいろいろな建物ができ、今までの街並みが変わってきています。我々電気工事業にとっても、数年前から大きなプロジェクトでの仕事をさせて頂く中で会社を維持してきました。箱モノの建設の仕事が一段落し、今後はメンテナンス、改造工事の方に仕事が向いてくるのかと思っています。飯山地域の仕事量も減少してきますが、地元の仕事は地元業者でしっかりと守っていくという精神で、仕事に臨んでいきたいと思っています。



【飯山市文化交流館[なちゅら】

有名な建築家の隈研吾先生の設計でとても変わった外観の建物



【飯山市内から戸狩スキー場方面の山を望む】

12月9日現在 山には全く雪がない

長野支部版 / スピーカーズ・コーナー



三回目の寄稿



日々思うこと

更埴地区 廣瀬 清 (広電興業)

この度支部通信の原稿を地区役員さんに依頼され考えてみたところ、一回目は長野オリンピックが終わった時でしたのでオリンピック観戦記を書いた覚えが有ります。その頃は長野県の経済も活気があり、電気工事業も大変忙しい時期でした。

そして平成15年に二回目を依頼されたときは、地区の電化祭り開催について書きました。あの頃は中部電力篠ノ井営業所、トーエネック篠ノ井営業所、そして更埴地区の会員さんそれぞれ皆が協力し合って、それはそれは盛大な電化祭りを開催しました。大勢のお客様が来場され、電化製品、電気工事等の売り上げも大変なものでした。その頃は経済の低迷で景気の悪い時代でしたが皆が自分たちの仕事を増やそうと頑張っていたそんな時代でした。

今回原稿を依頼され思う事は、私のようなアナログ世代の者にとっては大変な時代が来たという事です。まず一番困った事は中部電力への電気使用申込書が手書きからインターネット申込になった事です。色々な手続きがネットでできるようになりましたが、最小限度のネット利用で、手書きでいいものは今まで通りFAXや窓口持参で済ませています。私にとっては全然便利だとは思えません…。が、その中で非常に便利になった事があります。電気引込工事センターができた事です。我々にとって引込工事を安全に正確に施工する事は大変な課題でした。それを引込工事センターが全て解決してくれました。正確で綺麗な仕事ぶりに建築会社や施主様方に大変喜ばれ私もうれしく思っています。当地区専門班の宮崎電気さん、長野地区の千曲電気さんには今後も日時の厳しい

ことや大変な場所等無理なお願いをするかと思いますが、我々も専門班の皆様がスムーズに仕事ができるように協力しますのでよろしくお願い致します。

多くの人達に助けをもらいながら、もう少し電気工事の仕事を頑張ってみようかと思っているこの頃です。

幅5cmに感謝！

New スポーツで



須高地区 木下 浩治 (木下ラジオ店)

スラックライン (Slackline) というニュースポーツをご存知でしょうか？幅5cmのビニール製のライン(ラッシングベルトに似た物)の上を歩いたり、跳ねたりするニュースポーツです。体幹、身体の核(コア)となる部分を鍛えるトレーニングになり、子どもから大人まで遊びながら楽しく体幹を使う感覚を実感できるスポーツで、スポーツ選手やスポーツジム、リハビリ施設などでも注目を集めています。またスキージャンプの葛西選手もトレーニングに取り入れ話題に！

スポーツとしての国内競技人口は40,000人を超えと言われ、全国大会や日本オープンといった大きな大会も開かれ、世界ではワールドカップも開催されています。小布施町でも昨年、今年と全国大会が開かれたり、学校の授業に取り入れるなど急速な広がりをみせています。

私の息子(中野立志館高校1年)もスラックラインにハマっています。初めは興味を示さなかったのですが野球(シニア)が終わる頃から徐々に興味を持ち、今では毎日練習しています。練習は小布施町の浄光寺と言うお寺の境内にある「浄光寺スラックラインパーク」をお借りしています。お寺が…と思う方は大勢いると思いますが本当にお寺なのです。



2015 日本オープン (東京・二子玉川)

国の重要文化財もあり観光客や地元の子供たちでいつも賑わっている開かれたお寺です。「浄光寺スラックラインパーク」は日本最大級のパークで誰でも無料で利用できます。お寺さんのご厚意により場所等は提供され、維持管理等は地元や近隣等企業、個人の方々にスポンサーしていただいております。このご時勢に本当にありがたいことです。

今年息子は、全国大会優勝やワールドカップ・ドイツ大会 best8 に入賞し、2015 年度国内ランキング 2 位の好成績を残すことができました。応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。最近ではテレビ、新聞取材をはじめ県内や東京、神奈川、宮城、茨木等県外にも招かれ、指導や普及活動に出かけています。私や家族



2015 ワールドカップ (ドイツ・ミュンヘン)

だけではここまで成長できませんでしたが、それを支えてくださるのは「人」です。これまで出会った方々や関係者に感謝です。そしてたった 5cm に興味を持ち、夢や感動を与えてくれる息子にも感謝。

皆様もスラックラインで体鍛え、ダイエット、ヒップアップなどしてみてもいかがでしょうか！

旅とグルメ

中野地区 児玉 収
(有限会社児玉電気商会)



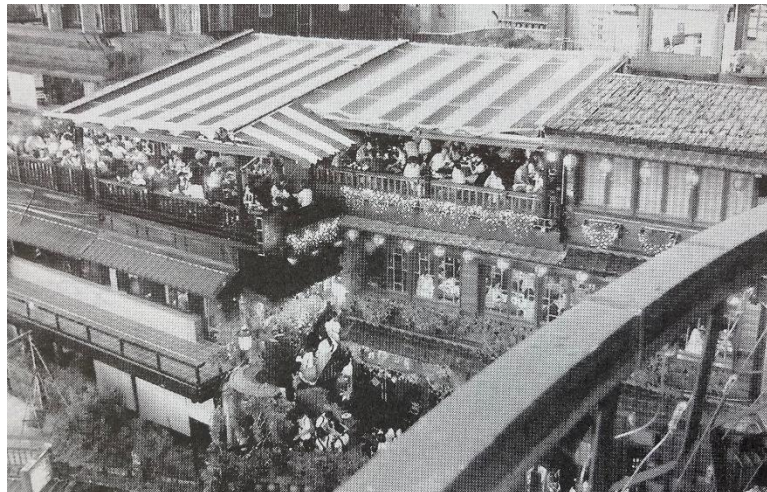
私は旅行が好きで、旅仲間と企画して出かけることが多々あります。早くから企画して予約する旅もありますが、急に思い立って出かけてしまう旅もあります。

旅が好きな理由は、必ず何かを感じさせてくれる「お土産」があるからです。初めて登って素晴らしさに引かれ、それから毎年挑戦していた富士山。下から見上げた風景と、上から見下ろす絶景の清々しさと素晴らしさ。そして登り切

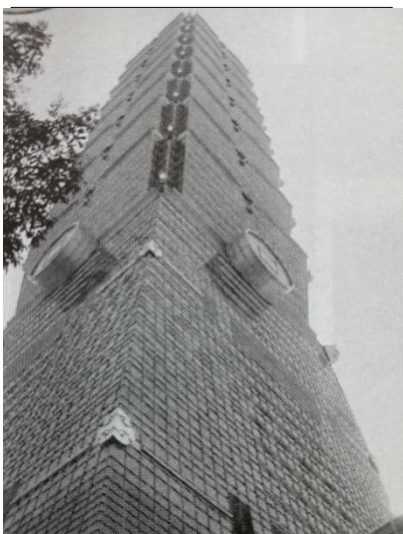
った時に飲んだ最高の水は、今でも思い出します。熱海の花火や隅田川の花火など、夏の夜空に咲く大輪見たさに、旅仲間と車を飛ばしたこともしばしばありました。もちろんその後は名産物と言われる酒と肴で満喫します。スカイツリーのオープン時には行列に並んで展望台まで上り、東京全体を360度眺め広大さを感じてきました。夜は展望台から眺めた街に繰り出し、ネオン街で仲間と語り尽くしました。北陸新幹線開通と聞けば、新幹線で行く訳ではないのに早速ホテルを予約し、金沢まで海鮮料理と地酒巡りに出かけ、心も胃袋も堪能してきました。

夏にはこんな旅もしました。旅好き仲間と車を走らせ、おおよその目的地を決め、走っている間に運転手以外の仲間が携帯電話から予約の取れるホテルを探し、取れたホテルの都市に行き、その近くの観光地を探す。たまたま名古屋のホテルが予約でき、近くの名古屋ドームで中日VS巨人戦があるというので、チケットも携帯電話から取り、野球観戦となりました。その後は名古屋市内の居酒屋で仲間と乾杯。全く逆の発想で仲間と若返ったような気持ちになりました。

ある時には仲間の一人が突然「台湾に行こう」と言い出し、台北市を中心に北側ほぼ全体を巡る『台湾グルメツアー』を3泊4日で行って来ました。旅大好き気ままな4人組が、ガイド付き、通訳付き、運転手付きで車を予約し、4人のわがままで贅沢な旅でした。行列の



できる飲茶店に行き1時間半並び、人気と言われる餃子やシューマイをたらふく食し、台湾に来たからには有名所も見物しなければと、日本で有名な『千と千尋の神隠し』の舞台となった『九份の夜景』を見て活気溢れる街並みに元気をもらって来ました。



いろいろな旅がありますが、どれも記憶に残る素晴らしい旅です。それぞれの土地や場所には人間の歴史や豊かさ、自然の強さや美しさを感じさせてくれます。そしてご当地の美味しい海や山の恵みは、身も心も元気にしてくれます。また次の旅を夢見て明日からの糧とし、仕事に邁進してまいります。

御朱印帳

飯山地区 中澤 邦夫 (協立電機株式会社)

尾山神社の狛犬



明治神宮で挙式の素敵なお二人



最近のマイブームは、柄にもなく御朱印帳を持って神社仏閣を参拝することです。北陸新幹線が開通し金沢が近くなり、最初に前田利家ゆかりの尾山神社へ行ったのが始まりでした。ここの狛犬がカッコイイ！それから日本の女性は白無垢が良いな～素敵だな、と再確認した明治神宮。これぞ、日本の結婚式!! 外人さんも“Beautiful”と大絶賛でした。

そして10月、一般には神無月ですが、出雲は日本中の八百万の神様が集まる神在り月なので出雲大社に行ってきました。神々の国、出雲。この地の象徴であるかのようにそそりたつ出雲大社。八雲山を背にした神域は森厳な空気が流れ、その中で数千年もの歴史を持ち、威容を誇る

神殿が厳かに立っています。出雲大社での拝礼は、少し変わっていて、二拝四拍手一拝と、独特の拝礼で行います。それから、手を合わす際には、指の節を合わせて節合わせ（不幸せ）にならない様に右手を少しずらします。

縁結びの神、福の神 出雲大社



その後、国譲りの神話の舞台でもある稲佐の浜にも行って来ました。国譲り神話の中で、天照大御神より国譲りの使命を受けた建御雷神と大国主命が対面した場所です。



神在り月には、稲佐の浜のこの岩を目指して八百万の神々が出雲に集まり、ここから出雲大社に向かうそうです。出雲に来て、色々な物を見聞きして、自分の国の神話なのに知らない事が多いと痛感



「弁天島」 古くは「沖御前」といい、遙か沖にあったといわれています。昭和六十年前後までは、島の前まで波が打ち寄せていましたが、近年急に砂浜が広がり、現在では島の前まで歩いていけるようになりました。

しました。一番びっくりしたのが『神在り月は旧暦ですので、神迎神事は、11月21日になります。』と、言われた事でした！ 神在り月に参拝をすれば、八百万の神様に一度にお願い出来る？ などとは微塵にも思ってもいませんでしたが、少し残念ではありました。



諏訪大社秋宮

帰ってから知ったのですが、長野の諏訪大社は、神無月にならずに出雲と同じ神在り月となる事です。『諏訪明神に限っては出雲に出向かなくても良い！』と、いうことです。その訳は長くなるので、知りたい方は古事記の日本建国神話(国譲り)を読んでください。

御朱印帳と古事記を眺めながら神話の世界に思いを巡らして、来年は何処に行こうか思案している所です。今度は、下調べを良くしてから出かけようと心に誓いながら…。

特集

引込および内線工事

技能オリンピック



山際貴順さん 23歳
(藤沢電気工業株式会社)



竹前克彦さん 31歳
(有限会社竹前電設)



岩本達幸さん 27歳
(高山電業株式会社)



第34回長野県大会

平成27年9月16日(木)
中部電力株式会社吉田訓練所

○総合準優勝
○学科優秀賞 山際貴則さん 岩本達幸さん

第33回連合会大会

平成27年11月5日(木)
中部電力株式会社人財開発センター
(愛知県日進市)

○総合優勝
○実技賞 第2位
○安全賞 第1位
○学科賞 第1位 岩本達幸さん

技能
オリンピック
巻頭挨拶



チーム総合力

中部電力株式会社
長野営業所長 降旗 宏吉

選手の竹前さん、岩本さん、山際さん、第33回引込および内線工事技能オリンピック連合大会での優勝おめでとうございます。
また、長野電気引込工事センターとしては前回の連合大会優勝に続く「V2」の達成おめでとうございます。

今年の技能オリンピック大会は、7月7日の開講式からスタートし、9月17日の県大会で準優勝、11月5日の連合大会で優勝という最高の結果を収められましたが、開講式以降の長期に亘り選手を派遣していただいた、須高地区の(有)竹前電設、高山電業(株)、藤沢電気工業(株)の経営者の皆さまに感謝するとともに、熱心にご支援いただいた大田代表・竹前地区長をはじめとする役員の方々に御礼申し上げます。

今年の大会を振り返ってみますと、長野県大会においては、雨中での開催となり作業環境が悪く、かつ支給材料等のアクシデントもありましたが、制限時間内に作業を終了させることができ、準優勝に輝き連合大会への切符を手に入れることができました。この時の選手の皆さんの気持ちは、県大会準優勝の悔しさの方が大きく、連合大会では絶対に優勝してリベンジしたいという闘志に火がついた時だったと思います。

連合大会では、応援している我々からすると、競技終了報告が制限時間1分前になっても完了していないので、ヒヤヒヤする場面もありましたが、総合成績：優勝、実技成績：2位、安全成績：1位、学科成績：1位（100点：岩本さん）という素晴らしい結果で、みごとに長野県大会のリベンジを果たすことができました。応援していた我々も選手の皆さんと一緒に感動を味わうことができました。

そして、今年も連合大会において長野県の技能レベルの高さを示すことができた大会でした。選手の皆さん、ありがとうございました。

大会で素晴らしい結果を収めることができたのは、選手の皆さんの頑張りが一番であったことは言うまでもありませんが、選手を送り出した経営者の皆さま、大田代表・竹前地区長をはじめとする役員の方々の皆さま、須高地区の会員の皆さま等々の方のご支援ご協力があったから達成できたことであり、長野電気引込工事センターの総合力の勝利だと思います。

選手の皆さんは、今回の技能オリンピック大会で習得した知識・技能（高品質かつ安全施工）を同僚や後輩に伝授していただき、長野電気引込工事センターの発展のために今後も活躍していただくことを期待しています。





技能オリンピック
観戦記 ①



祝 V2達成

中部電力株式会社
長野営業所 営業課長 大 厩 朋 幸

選手の竹前さん、岩本さん、山際さん、長野県大会準優勝、連合会大会総合優勝、誠におめでとうございます。また、選手を輩出された店主さま、長野支部・須高地区の役員はじめ、関係者の皆さま方、重ねてお祝い申し上げます。

7月からの4か月という長い間、選手はじめ関係者の皆さまにおかれましては、大変なご苦労とともに、前回大会優勝という大きなプレッシャーもあったことと拝察いたします。そうした中、見事輝かしい成績を収められ、喜びも一層のことと存じます。

私も連合会大会で『総合優勝長野Aチーム』と発表された際には、自然と『ヤッター』という声とともに、拳を突き上げていました。喜びの瞬間に立ち会うことができ感謝しております。

私は、長野県大会・連合会大会とも初めての観戦でしたが、観ている私の方が緊張するほどの緊迫感のある中、選手の皆さんは緊張した面持ちもありながら、普段どおりの元気のある掛け声やチームワークの良さをいかんなく発揮されていました。

連合会大会での竹前班長のリーダーとしての全体への目配り・気配り、岩本さんの柱上作業を終えて内線作業に取り掛かる際の気合の入った一声、山際さんの作業終了間際の落ち着きぶりを見ておりましたら、チーム結成当初とは比べものにならないほどの自信と大会に対する強い気持ちが感じられました。微力ながら支援させていただいた私としましても、大変嬉しく感じた次第です。

とりわけ接遇に関しては、竹前班長の人柄が感じられるソフトな語り口が好印象で、その点に関しては何らお手伝いさせていただくこともなく、また、想定問答もしっかり身に付けられていたため、安心しておりました。

さらには、連合会大会の会場では他県の方が応援団の様子も含め、『長野は気合いが違うなあ』とおっしゃっていました。選手はもとより、支部・地区の皆さまの気持ちがひとつになったからこそその栄冠獲得であったと感じております。

最後に、選手の皆さんは、今回の経験を通して様々なことを感じ・得、また、職場や家族の支えに対する感謝の気持ちも抱いたことと思います。それらを今後の自身の仕事に活かすことはもちろんのこと、会社や業界の発展・後輩指導にも結び付けていただき、より一層のご活躍を祈念いたしております。

技能オリンピック
観戦記②

普段どおりのこと

中部電力株式会社
長野営業所 配電建設課長 坂東 広嗣

竹前さん、岩本さん、山際さん、連合会大会での優勝おめでとうございます。須高地区、支部の皆さまはじめ、関係者の皆さまにおかれましても、長期にわたる支援に対してお礼を申し上げるとともに、お祝い申し上げます。

7月に開講式を行って練習に入ったころ、チームは、ペンチの使い方すら、ままならない状況で、県大会に間に合うのか一抹の不安がありました。毎日、本番さながらの練習をして出来なかったことを振り返り、繰り返し練習することで、9月には、ひとつおりの問題を時間内に完成できるところまでできていました。さすが、若いチームだけあって、吸収が早いと感心しました。

しかし、県大会前の披露会、県大会と進むうちに、緊張して思うように出来ないという状況になってきました。想定外なことが起こると、それに時間を取られて、普段どおりのことが出来ず思うようにいかない。かろうじて県大会は、2位で通過したものの、普段どおりのことが出来なかった選手たちの悔しさは、相当なものでした。

県大会終了後に、連合会大会に向けて、選手からは、想定外の問題を多くしたいとのことで練習を重ねてきました。今思うと、想定外な問題であっても繰り返し練習することで想定できる問題となり、自信につながっていったと思います。

いざ、連合会大会当日になって、選手3人は、堂々としたものでした。普段どおりのやるべきことをやる！その思いが、きびきびとした行動に表れて、安全とは何であるかを

示す、見本となるような作業でした。やっと、普段どおりのことが出来て、ガッツポーズが出たときには、応援団との思いが一つになった瞬間だったかと思います。

最後に、講師陣も選手と一緒に悩み、考えることで、



成長することが出来ました。大変感謝しております。今度は、選手3人が先生となる番です。会得した、「どうすれば安全であるか」、「チームで協力するためには何が必要か」、「精一杯やれば結果はついてくる」を、地区をはじめとした周囲の者に、伝えていただきたいと願っています。これからの更なる発展のため、ますますのご活躍をご祈念いたします。

技能オリンピック
観戦記③

感動をありがとう！ そして、新たなスタートを

中部電力株式会社
篠ノ井営業所 配電課長 小林 強志

選手の竹前克彦さん、岩本達幸さん、山際貴順さん、県大会準優勝、連合会大会優勝おめでとうございます。長期間、大変お疲れさまでした。

県大会の雪辱を連合会大会で見事に晴らしていただき、まさに『感動をありがとう』。

また、大変お忙しい中、貴重なお店の戦力を選手として選出していただいた店主の皆さま、大田支部長を始め長野支部の皆さま、ならびに竹前地区長を始め須高地区の皆さま、本当にお疲れさまでした。

皆さまの長期間に亘るご尽力に対し、お礼を申し上げるとともに、県大会準優勝、連合会大会では総合優勝（二連覇）、安全1位、実技2位、学科1位：満点（岩本達幸さん）という栄誉の獲得を心よりお喜び申し上げます。

さて、私は本年7月より関課長の後任として篠ノ井営業所に転勤して参りました。7月7日に行われました開講式は、松澤所長が参加させていただきました。以降、県大会に向けた訓練や連合会大会披露会の他、幾度か須坂に足を運び日々上達する選手の皆さまと接する度に非常に心強く感じました。真夏の練習時に汗だくで真剣に取り組む姿、語りつくせない指導員との真剣な訓練の日々、想像するにつけ、感動で胸が熱くなります。うん、歳かな・・・。

今回は、選手の頑張りや指導に当たられた長野営業所と須高地区が一体となった成果であったと思います。私は、長野支部の事業場での初めての勤務となりますが、役員方の熱意が感じられる場面が多々ございました。そんな、土壌からか選手も本気になって訓練や大会に参加している姿に感動をいたしました。

なぜ、篠ノ井営業所の職員が観戦に行くのか？その答えは、次回第35回県大会には、当事業場の更埴地区が選出する順番とお聞きしているからです。連

長野支部通信 第69号

合会大会には、更埴地区長を始め役員さまと観戦し、長野支部の輝かしい伝統を守っていかねばならないと思っていますところでございます。

順序通り、更埴地区が参加することとなれば、中部電力篠ノ井営業所として、本大会の訓練事項を引継し来る大会に備えるつもりであります。今回、参加された選手の皆さまを始め訓練に携られた方々からのご意見・ご指導を受け伝統に恥じないよう職員一同対応して参りますので、その際は熱いご支援を合わせてお願い申し上げます。

最後に選手の皆さまは、今後より一層安全プロという意識で「職場」、「家庭」、「地域活動」でご活躍されることを祈念申し上げます。

長野支部の皆さま、本当におめでとうございます。



9月 長野県大会 準優勝
東信チームに
優勝をさらわれた

自分たちに足りないものは
何だったのだろう

選手たちは闘志に燃えた
「今度こそ…！」

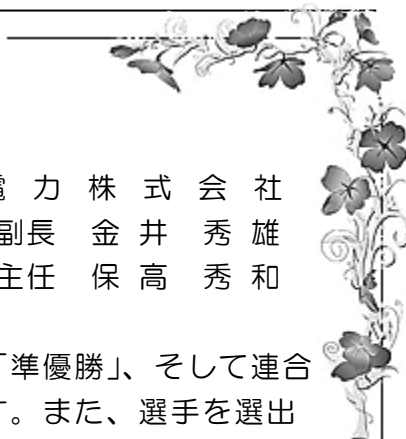
11月 連合会大会
目標は100%の力を
出し切ること

普段通りやればできる

講師の方々の言葉を信じて
大会の日を迎えた

夢はみんなで追いかける！





指導員からの
MESSAGE ①

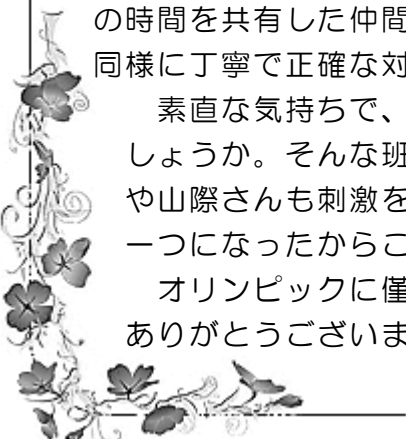
中部電力株式会社
長野営業所 営業課副長 金井 秀雄
長野営業所 営業課主任 保高 秀和

竹前さん、岩本さん、山際さん、長野県大会での「準優勝」、そして連合大会における「総合優勝」誠におめでとうございます。また、選手を選出された店主の皆さま、長野支部および須高地区の役員の皆さま、大会関係者の皆さま、お疲れ様でした。7月の開講式から長期間に亘り、準備し努力を積み重ね精進してきたことで、偉大な結果に結びついたことに心よりお祝い申し上げます。

今回、微力ではありましたが、接遇面でのサポートをさせていただきました。班長であった竹前さんは、厳しい実技訓練のあと汗も乾かぬうちに接遇訓練となり、日々大変であったと思います。私たち二人とも、技能オリンピック大会に携わったことがなかったため、当初「どんなことから始めればよいか」という戸惑いがありましたが、接遇でのポイントは「40点」を確実に取れるような指導をしようと確認しました。竹前さんは私たちと一緒に、大会当日の雰囲気想像しながら、挨拶の仕方やお客さま役が質問してくるであろう「問い」に対する対応を繰り返し練習いたしました。訓練当初は、照れくさいような感じの口調でしたが、日に日に自信を持った口調に変わり、我々社員でもなかなか覚えていないことまでしっかり理解をし、「自分の言葉」として相手に伝えるほどに変貌しました。私たちでも、お客さまからの質問に理解していただくための「言葉」を使い説明するのは難しいものです。このため、訓練の中では特に、お客さまが理解できる「用語」を用いることや何を望んでいるのかを「読み取る」ことを中心に訓練をいたしました。班長にはわざと意地悪な質問や無理・難題を課すことで相手の望んでいることを理解していただきました。各大会間際の訓練では、丁寧なあいさつから始まり、お客さまへの契約メニューの説明・各種PR・お客さまからの質問に対する回答など perfect でした。県大会後、事務局から「長野チームが一番良かった」と聞いたときには、多くの時間を共有した仲間としてとても嬉しく思いました。連合大会でも県大会同様に丁寧で正確な対応をしたことによる総合優勝ではないかと思えます。

素直な気持ちで、耳を傾け実践したことが結果に繋がったのではないのでしょうか。そんな班長を見ながら、学科に向けた勉強をしていた岩本さんや山際さんも刺激を受け、お互いを信頼し、自分の役割を認識した行動が一つになったからこそ最良の結果に繋がったのではないのでしょうか。

オリンピックに僅かながらでも関わったことを光栄に思います。本当にありがとうございました。



指導員からの
MESSAGE ②

夢を叶えた選手たち

中部電力株式会社
長野営業所 配電建設課副長 小林 文雄

「竹前班長」「岩本さん」「山際さん」念願の連合大会逆転優勝『V2』おめでとうございます。また、選手を選出された店主の皆さまそして須高地区・長野支部の皆さまには、約半年に亘る熱いご支援とご協力に敬意を表します。

特に今回の選手の皆さんは、「連覇」という声もあり相当なプレッシャーであったかと思いますが、鬼教官の指導にも耐えよく頑張りました。本当によくやりました。

今回のチームは、要求したことも高く、「ただ勝つだけではだめだ。全チームの“お手本”として取り組む」ことを他指導員含め指導しました。こうした中、なかなか結果が出ず“求めすぎたかな”と悩んだ時期もありました。しかし、選手は指導者を信じてよく頑張り、連合大会優勝という輝かしい結果を残しました。更に今回の経験を通じ、人間的にも大きく成長されたと思います。

連合大会優勝選手は、電気工事協力会「マイスター」の称号をいただいた技術者であります。今回で培った技術力・知識をもって後輩指導にあたりると共に、業界の更なる発展のため、ご活躍されますことを祈念しております。

思いやりと 不屈の精神

指導員からの
MESSAGE ③

中部電力株式会社
長野営業所 配電建設課主任 岩下 勝

選手の皆さん、連合大会での総合優勝、本当におめでとうございます。長野県大会での悔しい想いを胸に、約1ヶ月間の厳しい訓練によく耐えてきましたね。

私は主に学科の指導を担当させていただきました。毎日、実技訓練が終わってクタクタに疲れた選手たちに対して、時にはクイズを出題したり、時にはおやつを差し入れしながら気を引いてヤル気にさせたり・・・時にはテストの出

来が悪いからと、鼓舞激励しながら腕立て伏せや腹筋をやらせたりしてきたことが、今となってはとても良い思い出です！


ちなみに、大会前日にホテルでやるようにと渡した「学科想定問題」の裏面に書いたエールに、選手の皆さんは気付いたでしょうか！

連合大会当日、表彰式後に「総合優勝」という夢を叶えた選手たちの挨拶と流した嬉し涙には、一人ひとりの熱い想いと感謝の気持ちが込められており、本当に感動しました。社長さんをはじめ周りの方々から祝福の暖かい拍手を受けている選手たちの勇姿は、一生忘れることができないでしょう！

今回の大会を通じて、電気工事に関する知識・技術はもちろん、仲間を思いやる気持ちや、協力(後方支援)してくれる周りの方々へ感謝する心、最後まで諦めない不屈の精神など、本当に多くのことを学ぶことが出来たのではないのでしょうか！？

さあ、これからは、選手の皆さんが二年後、そして次の世代に技術継承していく番です。ぜひ、この貴重な経験を生かして、大空に羽ばたいて行って下さい。今後の活躍を期待しています。

最後に一言・・・熱く想い続けた『夢は叶う！！！！』



指導員からの
MESSAGE ④

よくぞ勝ち取った優勝！！ カッコ良過ぎ

中部電力株式会社
長野営業所 配電建設課主任 小松 正治
長野営業所 配電運営課担当 小林 弘

「総合優勝は長野Aチーム」 思わず、ガッツポーズをした。そして、隣にいた人と抱き合った。選手を見たら拳を高々と上げ天を仰いでいた。

7月7日の開講式以来73回の訓練を重ねて、県大会準優勝を勝ち得て、連合大会へのキップを手にしたのだった。振り返れば胴綱を扱ったことのない素人同然の選手だった。安全帯へ胴綱の付け方が分からない。柱上作業や墨出しをしたことがないなど、実技経験のない選手達に対し、今後どう指導したら、何から教えていけばいいのか、先が見えない状態であったが、選手達は自己流の癖がなく素直でやる気に満ち溢れていた。

そして何より「君達は何を目指すのか」という問いに対し、「勿論総合優勝で

す」と答えた彼等の真剣な眼差しを見て、私達も本腰を入れて指導していかなければならないと意気込んだ。

いざ訓練スタート、先ず基本動作の修得から始まり前回の課題に挑戦したところ、目標時間を遥かにオーバーし、出来栄もご粗末な仕上がりがだった。自分のことが精いっぱい
で周りを見たり、時間を気にしたりする余裕もなく、選手間にはギスギスした空気感が漂っていた。その後、課題をクリアする毎に難度を上げ、選手が不得意とすることを黒板に挙げて、ひとつひとつミスクリアしていくことで、作業の精度を上げ強いては時間内に完成させるという段階まで成長した。



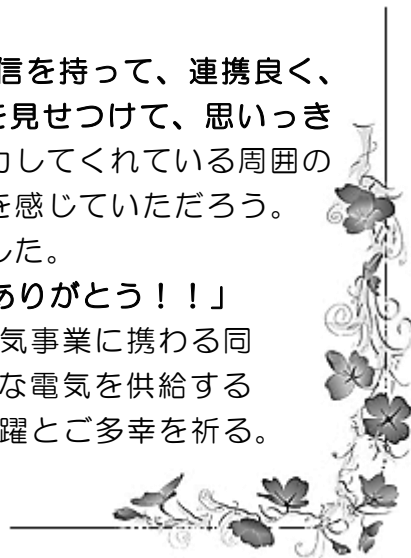
思うように出来なかった時には、選手間で幾度も話し合いを重ねることで、ギスギスしたムードが徐々に変わり、コミュニケーションが図られるようになった。悔し涙を流し計画的な訓練日以外にも、日中集まり自主練習をやり、深夜遅くまで話し合い、反復練習をしたことも何度かあったと聞いている。寝る間を惜しんで勉学に励み、己との戦いをし、家族のサポートに支えられ日々、限られた時間の中、チームワークを確かなものにしてきた。

結果として、選手達にはそれぞれ誰にも負けない得意とする技術が備わった。山際さんは、「VEのSづくり、墨出し、DV線の縁とり」。岩本さんは、「昇降柱の三点支持、DV線の張り上げ、結線接続」。そして、竹前班長は、「監督能力、技術伝承、臨機応変な判断力」。

そして、連合大会を迎えた当日「仲間を信じ己に自信を持って、連携良く、班長を中心に悔いなく戦ってくるように」「俺達の力を見せつけて、思いっきりやってこい」と、エールを送った。歴代の成績や協力してくれている周囲の方々の熱い思いを背負って、選手達は、かなりの重圧を感じていただろう。けれど、日々の訓練の積み重ねが実を結び勝利を手にした。

「よくぞ勝ち取った優勝！！カッコ良過ぎ 感動をありがとう！！」

この貴重な時間をくださった多くの方々に感謝し、電気事業に携わる同志として、選手共々、地域社会の皆さまのために、良質な電気を供給するという使命を果たしていくことを誓い、選手諸君のご活躍とご多幸を祈る。





写真下 向かって左から

小林担当 山際選手 岩下主任 竹前選手 岩本選手 小林副長 小松主任

そくせき

栄えある足跡

副支部長 高津 和忠

2年前・・・これ以上は望めないだろうと思えるほどの、本当に素晴らしい成績を収めた大会を終えてからもなお、誰もがずっと秘めていたひとつの願い。「次回も優勝したい！」

なんて、長野支部がいつからこんなことを当たり前のように思うようになってしまったのかはわからないけれど、ずっと思い続けたその夢が、今回の大会でも現実のものとなり、みんなが大きな喜びと感動を分かち合うこととなりました。

皆さんにもお馴染みの、松下幸之助の残した名言「夢」。「夢のある者は希望がある」「希望のある者は目標がある」「目標のある者は計画がある」「計画のある者は行動がある」「行動があるものは実践がある」「実践がある者は反省がある」「反省がある者は進歩がある」「進歩がある者は夢がある」と・・・また新たな夢に向かって進んでゆく姿は、ここ数回の大会で長野チームが残してきた足跡そのものではないかとも思えます。

長きにわたってこの大会を見てきた私がまた今回目にした光景。勝利を目前にしながらも結果的に敗退してしまったチームの多くが、終了間際であきらめてしまう中、長野チーム選手諸君の、最後の最後まであきらめない、冷静沈着な姿が強く印象に残りました。

また、最初は「優勝」という結果のみを追いかけ、ひたすら訓練を重ねてきたものが、「(大会では)結果はともかく、個々のやってきたことを悔いなきようすべて出し切るのだ」という境地にまで至ったということに、大きな感動と共感をも覚えました。

この大会に携わった方々は全員、そうした選手諸君の健闘を讃えると共に、自身もそれぞれの立場で最善を尽くした達成感と満足感を味わうことができたものと信じています。そしてまた、さまざまな喜怒哀楽、みんなが共有できた貴重なひと時と、プロセスやエピソードを忘れてほしくありません。

さらにそのひとつひとつを語り継いでゆくことが、特に引込センターが発足した後、今後の開催に向けての期待や危惧等が多く聞かれるようになった昨今、



将来にわたってオリンピックを開催し、参加して行くことの本当の意義を理解してもらえ^{よすが}る縁になってくれるものと期待しています。

皆さん本当にお疲れ様でした。万歳！
そして2年後に向け・・・ みんなでまた大きな夢を見ちゃいましょう！

親子鷹



みんなの協力で 技能オリンピック優勝

須高地区長 竹前 廣克

引込および内線工事技能オリンピック出場に向け、昨年4月より地区は選手選考について話し合いを行い今年1月の定例会で岩本達之君（高山電業株式会社）、山際貴順君（藤沢電気工業株式会社）竹前克彦君（有限会社竹前電設）の3名にお願いしました。

4月に、訓練をどのように進めていくのか、長野電気引込工事センターの中村センター長・中部電力長野営業所様と訓練場所および日程について話し合いを行い6月22日（月）オリエンテーション、7月7日（火）開講式、翌日の8日より訓練を開始して、9月17日（木）の長野県大会を目標に頑張ることを確認しました。

7月7日の開講式には中部電力長野営業所降旗所長、保安協会長野・中野営業所長・長野電気引込センター大田代表をはじめ関係者様・須高地区会員の総勢50名で盛大に行いました。中部電力須坂訓練所をお借りしての訓練は、長野営業所の皆様に実技・接遇・学科のすべての指導をお願いし、午前中は実技午後には学科の訓練 地区の組合員の皆様には当番表を作り毎日2社1組で材料の準備と選手の応援をお願いしました。

7月中旬から下旬は猛暑日が続き選手は汗で作業着の色が変わる状態の中頑張った訓練。3人の選手のチームワークも良くなり実技も周りの組合員が驚くほどに上達しました。声は最初からよく出ていて頼もしく思いました。

長野県大会は小雨模様の中開催され、実技を時間内に完成・報告できたのは長野・東信の2チーム、竹前班長が冷静に判断し時間内に完成報告を終え、学科では山際君3位 岩本君4位と健闘、県大会は準優勝で連合大会へ行くことになりました。選手は連合大会では優勝するんだと言い切り訓練を続け、7月

からの訓練が4か月になる11月5日連合大会に出場しました。

大会会場となる人財開発センターには選手・関係者総勢450名が集まり競技が開始されました。長野電気引込工事センター代表の(長野Aチーム)引込工事は後半になりましたが訓練通り、いや訓練より上手にでき、内線も見栄えよくでき点灯試験も良さそうでしたが、選手は時計を見ているがなかなか動きません。応援団からは「どうしたんだ?早く完成の報告に行け」という声。後で聞くとメーターのグリーンランプが点灯するのを時間ぎりぎりまで待ったとの事。それを言ったのが一番年下の山際君だったそうです。毎日訓練を一緒にやった3人のチームワークが現れた場面でした。学科は岩本君が頑張り1位に。長野Aチームは安全賞1位・実技賞2位・学科1位で総合優勝に輝き長野電気引込工事センターはV2を達成しました。

長野センターは、ここ数年長野県大会で優勝・準優勝と好成績を残しています。これは長野支部が技能オリンピックに積極的に取り組んでいることの証であり、業界の若手育成と技術向上につながると確信しています。

最後になりましたが、中部電力株式会社長野営業所・飯山営業所・篠ノ井営業所・保安協会長野・中野営業所・長野電気引込工事センター・選手を送り出した店主・地区組合員の皆様のご協力に感謝と御礼を申し上げます。

皆様のご協力で技能オリンピック優勝できました。本当にありがとうございました。



♪ 君と笑えたら 夢をつなぎあえたなら
信じあえるだろう 想いあえるだろう
この時代を 僕らを この瞬間を ♪

WINNER



店主からの
MESSAGE

記憶から記録に

高山電業株式会社
代表取締役 藤沢 一三

株式会社長野県電気工事協力会主催の技能オリンピック長野県大会が平成27年度開催となり、前回担当地区の中野地区さんから今回は須高が当番地区となりました。前回の中野地区さんが大活躍され、長野県大会・連合会大会ともに総合優勝をされました。大変な重圧の中、須高地区は竹前地区長さんを中心に選手の選考から始められ、当社にお声掛けを頂きました。責任ある選手の選出ですので社内で検討をし、ご迷惑をおかけするかもしれないが岩本達幸君を推薦しました。岩本君はまだまだ経験が浅く、地区の皆様や他の選手に迷惑をかけてしまうのではないかと思いましたが、本人に相談しましたら『是非やりたい。やらせてほしい。』との返事。会社を挙げて支援、応援する事としました。

中部電力様や支部の役員様そして須高地区の会員の皆様方のご指導を頂き、班長の竹前電設の竹前克彦さん、内線担当の藤沢電気工業の山際貴順さんと共に大会に臨むことができました。お陰様をもちまして9月16日開催の第34回「長野県大会」、11月5日開催の第33回「連合会大会」に於いて所期の目的を果たすことができました。本当にありがとうございました。岩本は何かと皆様方にご迷惑をかけたことと思いますが、今回の経験は本人のこれからの人生に必ずや役に立つことと思います。

関係者の皆様方に『技能オリンピック』を通して貴重な経験と素晴らしい感動を頂きましたことに御礼と感謝を申し上げまして、あいさつと致します。





店主からの
MESSAGE

久しぶりの涙

藤沢電気工業株式会社
代表取締役 藤澤 一彦

早朝4時出発。内心無理だよなぁと考えながらバスに乗り込み、愛知県の会場に向かいました。

この度の技能オリンピック大会に当社の社員が参加させていただいたことを、電気工事業力会須高地区の皆様にご感謝申し上げます。そして大会までの間、厳しい訓練をしてくださった中部電力株式会社の講師の皆様、ありがとうございました。

そしてステッフルの打ち方も知らなかった山際君と、最後まで一緒に訓練をしてくれた選手のお二人にも感謝したいと思います。

結果発表は『総合優勝 長野Aチーム！』嬉しかった！

応援に行ってくれた皆の目には、涙が溢れていました。私も久しぶりに涙が出ました。次回の大会が楽しみです。



チームワーク

有限会社竹前電設 竹前 克彦



山積みになった実技・学科の模擬問題、マーカーだらけの便覧に必携、TBM-KY 票、接遇資料。そして須坂訓練所の前を通る度に思い出す、あの訓練の日々……。本当に自分を成長させてくれた、中身のぎっしり詰まった薄皮まんじゅうのような4ヶ月間でした。

胴綱の使い方がわからない、電柱に昇った事がない、腰袋をぶらさげて1年も経っていない……。そんな話を聞いて、自分は班長として何ができるか、本番までにどうチームを作り上げていけばよいか考え、学ばせて頂きました。まず「チーム」として競技をするためには、高い「チームワーク」が必要不可欠だという事。そのために大事にしたのは「ふたつの共有」です。

ひとつ目は、仲間同士の情報共有の「コミュニケーション」。ふたつ目は目標に対する意識の共有。大目標・小目標を決め、それに対して意識の共有をする。中でも短い期間で目標を達成させる為に大事にしたのが、小目標の基本的な作業や動作。訓練後、休日にも反復練習を行い自信をつけていきました。

しかし、本番の県大会では緊張と様々な「初体験♡」にギリギリの準優勝でしたが、出来栄えは最悪。練習の成果が出せずに3人がとても悔しい思いをしました。唯一「選手宣誓」はうまくいきました。ありがとうございました。

連合会大会の切符を手にしたその日からは、またこのチームで次を目指せるという嬉しい思いと反面、今度は「連合大会2連覇」という誰も口にしない、見えないプレッシャーが重くのしかかってきました。本番になると平常心が保てず、初体験にとっても弱いこのチーム……。実技課題も変わり、目指すような出来栄えとは中々ならない中で、気合いを入れて頂いた大会直前の3日間。その中で課題だった事に気づけ、大会には自信をもって臨む事ができました。大会前夜は競技のイメージトレーニング、ガッツポーズの練習もしっかりし大会当日を迎えました。

競技開始と同時にエンジン全開！！フルスロットル！！会場の雰囲気呑み込まれそうになりながらも、3人が声を掛け合いチームがひとつになり、普段通りの作業ができ、普段以上の満足のいく出来栄えとなりました。結果は総合優勝！！V2 達成！！練習通りのガッツポーズと汗と涙が出た悔いのない最高の大会でした！！

チームの元気印岩本。真面目で最後は冷静な山際。動と静の2人でバランスのとれた、とても楽しいチームでした。2人に出会え「チームワーク」と「仲間」の大切さを学び、共に訓練できた事に感謝します。

「ありがとう。また飲みに行こうな」

最後になりますが、今大会にあたり最高の御指導をして頂きました中部電力の皆様、最高の練習環境を整え毎日欠かさず面倒をみて下さった長野支部・須高地区の皆様、このような機会を与えて下さった社長。全ての皆様のお陰でこのような結果を出す事ができました。これも長野の「チームワーク」「団結力」があったからこそだと思います。本当に心から感謝致します。「ありがとうございました」今後は、この貴重な体験で学んだ技能・知識をこれからの仕事に活かしていきたいと思います。



努力

高山電業株式会社 岩本 達幸

技能オリンピックの最終目標は連合会大会での優勝でした。そのためにまず、県大会に向けての訓練が始まりました。最初は右も左もわからない自分達でしたが、中部電力の講師の皆様のご指導により、徐々に形をつくっていくことができました。休日も三人で話し合い、練習に励みました。「普段通りに行けば大丈夫」と言われ、気合を入れて県大会に臨んだ結果トラブル続きで、満足がいかない結果となり、悔しい思いをしました。

連合会大会の訓練が始まると、県大会での悔しい思いはしたくないと思い、全てが完璧になるまでひたすら励みました。三人で夜遅くまで訓練したことも、今ではいい思い出です。連合会大会の日が近づくにつれ、目標が変わっていきました。最初は『優勝』でしたが、ここまで来たら「今までやってきたことを、悔いが残らないよう全て出し切る」に変わっていきました。

そして大会当日。いい緊張感の中三人のチームワークも良く、訓練の成果を全て出し切ることができました。その結果『優勝』という二文字が付いてきました。努力の積み重ねの上に結果があるのだと、改めて実感しました。










的確な指示でチームを力強く引っ張ってくれた竹前班長。いつも冷静で綺麗な仕事してくれた山際さん。この二人がいたから勝つことができました。一生の仲間と言える二人に出会えたことに、心から感謝したいと思います。

そして中部電力の講師の方々、協力会の皆様、たくさんの支援や応援をありがとうございました。今後はオリンピックで学んだ知識と技術を仕事で生かし、更なる向上を目指していきたいと思います。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

中部電力株式会社 1月1日付 人事異動 (関係分)

	所属・役職	氏名	
転入	篠ノ井営業所 所長	小平 広志	【前任】松本営業所 配電建設課長
転出	篠ノ井営業所 所長	松澤 清子	【新任】長野支店営業部 エネルギー・パートナーグループ販売課長

(敬称略)

事務局から 新年のひと言	
	塚田 邦夫 「何が何でも ゼロ災でいこう。よし！」
	中村 和久 「センターの 更なる発展に努力します」
	渡辺 吉蔵 「年初の想い=心身共に健やかな1年 を=ますは節煙・節酒から??」
	石川 則夫 「はじめる部 家では家事を 始める部」
	倉嶋 紀子 「減 量」
	中野佐智子 「良い本、良い人、良いものに 積極的に接する」
	山本 晴美 「今日の一日を、大切に… と思う今日この頃です」
	岸部喜代子 「毎日 笑顔」
	山崎 亜弥 「家族の健康と安全」

長野支部 新年会のお知らせ

日時：1月21日(木)
午後5時より
場所：メトロポリタン長野

職長教育(再教育) 開催のお知らせ

日時：2月25日(木)
午前9時より
場所：職業訓練センター

定時総会のお知らせ

日時：5月17日(火)
時間は未定
場所：国際21



12月22日 総務委員会 長野電気会館に於いて

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。

支部通信発刊に際し、大変お忙しい中、第六九号に寄稿戴き誠にありがとうございます。

昨年は技能オリンピック二連覇達成と輝かしい成績を収める事ができました。

選手の皆さん、中部電力様を含む関係役員の皆様お疲れ様でした。

今年も暖冬とも言われますが、極寒の日もあります。健康に留意され、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたします。

総務委員 酒井 重喜



編集

副支部長 高津 和忠
 総務委員長 玉木 新二
 総務副委員長 伊東 敬晃

総務委員 久保田雅史
 渡部 進
 酒井 重喜
 (事務局 倉嶋)



申
の
三

新春の
祝詞

申し上げます

大沢電機株式会社

昭和電機産業株式会社

株式会社デシセシ

株式会社ニツセー電機

(五十音順)